

助成受給団体名	ふりがな ぼりよくついはうみやこちくけんみんかいぎ 暴力追放宮古地区県民会議
事業の名称	暴力追放啓発及び啓発用品の配布
実施期間	平成25年8月1日～同26年2月28日
<p>実施した事業の内容(200字以上500字以内に収めてください。)</p> <p>冊子『暴力団の情勢と対策』を購入し、会員(100団体)及び防犯協会(108団体)へ情報提供をおこないました。また、10月10日開催の“暴力追放宮古地区推進パレード”の参加者約200名、2月26日開催の研修会資料として約90名に配布しました。</p> <p>『暴力追放宮古地区県民会議』の名入りボールペンを購入し、暴力追放宮古地区推進パレードで配布、年末年始特別警戒活動の際に、市街地の飲食店をまわってオリジナルのチラシとともに配布しました。また、2月開催の研修会で参加者へ資料とともに配布しました。</p> <p>通信費は、岩手県暴力団追放県民大会や暴力追放パレード等の各イベントの案内のほか、県暴追センター機関誌等の情報提供、新規会員募集などをおこなう際に、メール便代金として使用しました。</p>	
<p>事業の成果(200字以上500字以内に収めてください。)</p> <p>これまで、岩手県暴力団追放県民大会への参加や、宮古地区における暴力追放パレード及び研修会を開催し、宮古地区の企業・住民とともに暴力追放意識の高揚を図ってきました。</p> <p>先の震災により、賛助会員の事業所や団体も数多く被災したため、賛助会費の会費負担を軽減して運営せざるを得ない状況となっていました。現在、宮古市・山田町の地域では、復興事業等で県内外から人の流入が続き、暴力団の介入が危惧されているところでもあるため、暴力追放をこれまで以上に強く訴えることが急務となっていました。</p> <p>当該事業の実施により、広報活動用品を住民や事業所、飲食店等にも広く配布することができ、暴追活動をこれまで以上に啓発できたほか、新たに賛助会員を増やすための活動も積極的に進めることができました。</p>	
<p>今後の課題</p> <p>宮古地区に暴力団が入ってくることを防ぐよう、住民や企業、飲食店とともに、暴追活動を更に推進し、安定した事業継続のためにも賛助会員を増やしていくことが課題であると考えます。</p>	

